

高揃



写真提供 高揃獅子踊り会

高揃聖霊菩提獅子踊り (たかだましょうりようぼだいししおどり)

8月22日に高揃地区の河上神社に奉納されています。
天保12年(1841年)より伝承されており、
先祖供養と共に地区内の安寧を祈願する踊りで、
7匹の獅子が勇壮に踊ります。
近年、観光を兼ねて見に来る方々が増えております。



発刊にあたって



天童文化団体協議会

会長 辻 輝彦

広報誌の発刊にあたり、一言、こいさつ申し上げます。日頃、当協議会の運営・諸催事への皆様のご指導、ご協力に對しまして、深く感謝を申し上げます。

天童市における芸術文化の歴史は長く、毎年行われてきた「市民芸術祭」も今年で50回目を迎える記念すべき年となりました。これも、芸術文化に親しんでこられた多くの先輩方が仲間を集い、創る喜びや楽しさ、人と人とのふれあいの喜びなどを共に感じ、その輪を広げ、今日まで絆ゆかりいでいただいたからであります。

そして現在、当協議会には、美術・映像、音楽、邦楽、伝統芸能、舞踊、生活文化、演劇・文芸・学術の7つの部門があり、加盟団体は50団体にまでなりました。また、来年には設立50周年という節目を迎えます。改めて、先輩諸氏が築かれた功績に對し、深く敬意を表するものであります。

芸術文化は私たちの心に安らぎや力を与え、地域の絆を強め、さらに明日への希望を与えてくれます。21世紀は「この時代の時代」の幕明けといわれて久しくなりませんが、地域社会に目を向ければ、いじめや自殺などのこのころの悩みや、胸が痛むような社会問題が多くみられます。

今こそ「豊かな心」を醸し出す芸術文化を押し進めるときであると考えます。これまで50年の長きに亘って築かれた諸先輩の実績をしっかりと継承し、秋の「第50回天童市民芸術祭」をこれからの芸術文化の更なる振興・発展に向けた第一歩と位置づけ、皆様と共に力強く進めていきたいと考えております。

当協議会の更なる発展と天童市の芸術文化振興のために、今後とも皆様のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

創刊を祝して



天童市長

山 本 信 治

このたびは、天童市文化団体協議会広報誌の創刊、まことにおめでとうございます。天童市文化団体協議会の皆さまには、日頃より本市の芸術文化活動の中心となつて意欲的に活動され、芸術文化の振興に大きく御貢献いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

特に、本市との共催により開催される「天童市民芸術祭」は、市民による芸術文化の祭典として、多くの皆さまに親しまれるとともに、本市における芸術文化のレベルの高さを内外に示す一大イベントとして定着し、来年度は記念すべき50回目を迎えます。これを機会により多くの市民が芸術文化活動に親しみ、創造の喜びを享受することができるよう、皆さまからは、二層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

現代を生きる私たちにとりまして、芸術文化は、人々

の心にゆとりと潤いを与え、心豊かなまちづくりの原動力となるものであり、現在の厳しい経済情勢など、大きく移り変わる社会環境の中にあつては、文化の持つ価値や芸術の輝きが、日々の生活の支えとしてますます重要になつていくものと考えております。本市におきましても、第六次天童市総合計画に掲げる目標の一つである、「生き生きとした人をはぐくむまちづくり」の実現に向けて、市民の皆さまの芸術文化活動を支援しながら、引き続き芸術性豊かなまちづくりに努めてまいりたいと考えております。

結びに、天童市文化団体協議会のみまします御発展をお祈りいたしますとともに、今後とも本市における芸術文化振興のためお力添えを賜りますようお願い申し上げます、お祝いのごことばといたします。

天童市文化団体協議会とは…

天童市内で活動する文化団体が連携を図り、文化活動の健全な発展と、地域文化の振興を図ることを目的として、「天童市民芸術祭」の運営や、「天童市芸術文化振興基金」を活用した市民の芸術文化活動の支援を行っています。

これまでのあゆみ

昭和39年6月 19団体で設立。第1回総合文化祭(現市民芸術祭)を市制施行10周年記念行事の二環として10月から約1ヶ月間開催する。

昭和49年 市民文化会館落成。加盟団体も29団体となり、同年10月1日には新会場で「第11回天童市民芸術祭」を開催。昭和55年には茶室「天心庵」が完成した。

昭和56年 故山口藤助氏の寄付がきっかけとなり天童市芸術文化振興基金を設立。現在、青少年の芸術文化の育成や大きな芸術文化イベントに活用されている。

加盟申込み・問合せ

天童市市民部文化スポーツ課 芸術文化係

〒994-8510 天童市老野森1-1-1
天童市市民部文化スポーツ課 芸術文化係
電話 023-654-1111 内線262

平成24年度 天童市文化団体協議会加盟団体

番号	団体名	代表者	番号	団体名	代表者
1	村山美術	遠藤昭吾	26	天童俳句会	黒沢道子
2	宝樹社	伊藤有光	27	天童なつメロ愛好会	奥山領一
3	らくがき会	伊藤正輝	28	舞踊連盟鳳舞会	松若寿恵玲
4	天童短歌会	高橋宗伸	29	天童市野草と親しむ会	佐藤定四郎
5	天童市合唱団体連絡協議会	工藤俊孝	30	クラシックバレエしらゆり会	矢作葵
6	若葉の音楽会	秋保博	31	川東民謡連合会	清野昭松
7	ビッグ・スウィング・フェイス	阿部豊明	32	日本将棋連盟天童支部	村岡良雄
8	天童市書道連盟	鈴木千岳	33	天童和太鼓連合会	庄司一郎
9	全日本写真連盟天童支部	渡部潔	34	天童広重研究会	会田栄治
10	天童ドラマグループ	鈴木弘	35	創作和紙人形サークル	鈴木操
11	天童梅若亀弘会	松田充弘	36	箏愛好会(箏慶会)	宮本伶慶
12	天童緑鳳会	安喰邦男	37	夢奏会	奥山新一郎
13	乾ふじ会	藤間乾	38	天童市大正琴愛好会	斎藤正子
14	佛向寺踊躍念佛保存会	井澤隆徳	39	赤松盆友会	会田清
15	高揃聖霊菩提獅子踊保存会	岡崎俊雄	40	天童押し花サークル	山口静子
16	天童維新軍楽隊保存会	山口清志	41	天童市伝承芸能保存団体協議会	山口清志
17	天童市詩吟愛好会連絡協議会	新関法子	42	天童春蘭愛好会	細矢金一
18	天童市茶華道連合会	野村玲光	43	天童ハワイアンクラブ	東海林仁
19	天童郷土研究会	湯村章男	44	天童歌謡クラブ	丹野政敏
20	吉田大八会	矢吹海慶	45	天童ダンス愛好会トウインクル	齋藤泰雄
21	天童盆栽愛好会	武田正治	46	龍翔会	安部孝男
22	社団法人日本盆栽協会天童支部	瀬野文義	47	能楽あ字門の会	森川慶子
23	天童民謡寿菁会	伊藤完一	48	日本画竹馬会	設楽雅信
24	雑誌「天童」	鈴木実	49	天童ジュニアオーケストラ	増川誠
25	天童市プラス・オルケスター	川崎慎之介	50	パッチワークサークル ドリームコットン	安孫子夏江

第49回天童市民芸術祭

(期間：平成24年10月1日～平成24年12月31日)



らくがき会

「幼児と絵描きで遊ぼう会」で子供たちが自由な発想で画用紙に絵を描いたり、切った色紙を貼ったりして感性を求めて市民芸術祭を楽しんでいた。



天童押し花サークル

作品展示会恒例の体験会で。押し花を通した活動から出会いが生まれ、人々と共有できることが何よりの喜びとと思っています。
花が好き、人が好き、出会いが好き



乾ふじ会

母若柳政喜世が松若寿恵玲先生と提携して芸術祭を飾ろうと合同公演をはじめて50年。古典・新舞踊を40番、伝統行事を終え達成感にひたる乾ふじ会員、3歳～80歳。(乾)



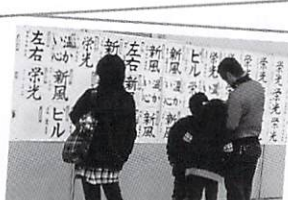
ビッグ・スウィング・フェイス

BIG SWING FACE 第34回リサイタル
特別ゲストは、世界的なトランペター エリック・宮城氏。満員の観客を魅了しました。



天童市合唱団連絡協議会

天童コーラスフェスティバル2012は天童市芸術祭史上最大のコーラスフェスティバルを開催しました。



天童市書道連盟

第60回市民書道展 教育の部風景



天童市大正琴愛好会

発表会もいつの間にか16回目を迎えました。
オープニングのリハーサル風景、回数を重ねてもやはり緊張する場面です。



天童盆栽愛好会

日本古来の伝統文化の一つ、世界にも「ボンサイ」で通じる。毎日の手入れが大切。管理する人柄が作品に表れる。



日本将棋連盟天童支部

「第18回大山康晴十五世名人杯争奪将棋大会」「第42回天童市民将棋大会」
大会参加者267名、小学生の部に62名が参加。幼稚園児も参加し、豆将士の活躍も頼もしい限りである。



天童市バス・オルケスター

「第24回天童市吹奏楽秋の合同演奏会」を開催。市内の幼稚園から社会人までの吹奏楽団体が参加し、合同演奏ステージでは昨年引き続き静岡交響楽団の望月洋次郎先生を指揮者にお迎えし素晴らしい演奏を市民の皆様楽しんで頂きました。



天童市茶華道連合会

お茶会(茶室天心庵)、生け花展(市民文化会館展示室)での風景です。茶会・花展はいつも多くの市民の方々にご参加いただき賑やかに終了しています。



天童市野草と親しむ会

ジャガラムカラの不思議で貴重な自然を多くの市民に知ってもらうために、第50回天童市民芸術祭・アートフェスティバルでは、写真と植物を展示して、『ジャガラムカラの不思議・大切にしたい貴重な自然』と題した野草展を開催します。今回はそれに向けての、準備として行ったものです。

◆展示・発表部門◆

第49回芸術祭催物……

- (社) 日本盆栽協会天童支部
「秋の盆栽展」10/6～10/8 市民プラザ
- 天童市茶華道連合会
「花展」10/6～10/7 市民文化会館
「市民茶会」10/7 市民文化会館
- 天童盆栽愛好会
「秋の盆栽展示会」10/12～10/14 市民プラザ
- 天童市野草と親しむ会
「秋の野草展・会員による写真展」10/13～10/14 もりもりな天童
- 村山美術・宝樹社
「第49回天童市民美術展」10/23～10/28 市民プラザ
- 全日本写真連盟天童支部
「全日本写真連盟天童支部写真展」10/29～11/4 市民プラザ
- らくがき会
「幼児と絵描きで遊ぼう会」11/2 市民プラザ
- 春蘭愛好会
「春蘭愛好会展示会」11/3～11/4 市民プラザ
- 天童短歌会
「短歌色紙展」11/11～11/11 市民プラザ
「市民短歌会」11/11 市民プラザ
- 天童俳句会
「俳句展」11/10～11/11 市立図書館
- 天童押し花サークル
「第19回押し花作品展」11/15～11/18 市民プラザ
- 天童市書道連盟
「第60回市民書道展」11/21～11/25 市民プラザ
- 日本画 竹馬会
「第33回日本画竹馬会展」11/25～12/2 市民プラザ
- 天童書道クラブ
「第32回天童書道クラブ展」12/7～12/9 市民プラザ

創るよろこび、深めようわれらの文化

閉幕祝賀会

平成25年2月20日(水) 午後6時から、ほほえみの宿滝の湯において、132名の参加をいただき盛大に開催されました。アトラクションでは、昨年40周年を迎えたビッグ・スウィング・フェイスの演奏を楽しみました。

その席上で表彰されました皆様は、以下のとおりです。



平成24年度天童市文化団体協議会 功労賞・奨励賞受賞者

◆功労賞

- 青柳 繁也様(天童市合唱団体連絡協議会)
- 松田 充弘様(天童梅若亀弘会)
- 斎藤 隆一様(天童郷土研究会)
- 熊澤 久様(天童盆栽愛好会)
- 村上 みち様(天童民謡寿葺会)
- 矢野 きよ子様(天童歌謡クラブ)

◆奨励賞

- 片桐 勝様(村山美術)
- 土屋 文昭様(ビッグ・スウィング・フェイス)
- 加藤 翔琴様(天童市書道連盟)
- 安喰 邦男様(天童緑鳳会)
- 鞍掛 彰秀様(天童なつメロ愛好会)
- 松若 寿秀美様(舞踊連盟鳳舞会)
- 吉田 とみ子様(川東民謡連合会)
- 尾形 裕斗様(事務局推薦・将棋)



能楽 お字門の会

クリスマスイブと重なって出演できない方もありましたが、3つの会の美声?を聞いたり、聞かせたり、お互い古典芸能に触られた1日でした。初舞台を踏んだ方からは「緊張した～」と満足げな一言も。



天童なつメロ愛好会

第49回天童市民芸術祭参加「第28回なつメロと新舞踊のひととき」オープニングは東京行進曲、現在会員51名で構成されています。



天童梅若亀弘会

会員による謡曲「女郎花」おみなめしを披露。「女郎花」は旅僧がその美しい花一輪折ろうとすることより事が始まります。役柄、場面を理解し謡うことが求められます。この事強いては、己を磨き育てる場になると感じるところです。

昭和26年に発会した天童梅若亀弘会、今後も伝統を守り精進を重ねて行きたい。



天童緑鳳会

第48回市民芸術祭素謡大会で、仕舞「春栄」を披露する浅沼勝さん。仕舞とは、能の一つの曲の象徴的な部分を舞いと地謡のみで楽しむものです。(平成24年12月24日開催)



天童民謡寿葺会

日頃一所懸命に練習を重ねて参りました結果が自信となり発表出来ましたことに会員一同満足しております。

川東民謡連合会

10月8日(体育の日)、市民文化会館大ホールに於いて「民謡寿葺会」「民謡こぶし会」との合同発表会を「ふるさと民謡と踊りの旅」と題して盛大に開催。今回は津軽三味線、津軽の唄、山形大黒舞愛好会の特別ゲストを迎え、大盛況のうちに幕を閉じることが出来ました。会員みんなが、しっかりと目標を持って挑戦することが、趣味の道でも生涯続けられるものと、信じております。

◆音楽・演劇・舞踊部門

- 箏愛好会
- 「箏曲演奏会」10/7 市民文化会館
- 天童民謡寿葺会・川東民謡連合会
- 「平成24年度 民謡唄と踊りの発表会」10/8 市民文化会館
- 舞踊連盟鳳舞会・乾ふし会
- 「乾ふし会・鳳舞会合同公演」(日本舞踊) 10/14 市民文化会館
- 天童市大正琴愛好会
- 「第16回天童市琴城流大正琴愛好会発表会」10/28 市民プラザ
- 天童市ブラス・オルケスター
- 「第24回吹奏楽秋の合同演奏会」11/18 市民文化会館
- 天童市合唱団体連絡協議会
- 「天童コーラスフェスティバル2012」11/25 市民文化会館
- 天童市詩吟愛好会連絡協議会
- 「第39回天童市詩吟愛好会吟詠吟舞大会詩吟の集い」11/25 市民文化会館
- 天童なつメロ愛好会
- 「なつメロと新舞踊のひととき」12/2 市民文化会館
- ビッグ・スウィング・フェイス
- 「ビッグ・スウィング・フェイス第34回リサイタル」12/9 市民文化会館
- 若葉の音楽会
- 「レインボーコンサート」12/16 市民文化会館
- 天童梅若亀弘会・天童緑鳳会・能楽あ字門の会
- 「天童梅若謡曲素謡大会」12/24 市民プラザ
- ◆ 講座・民俗芸能・将棋部門
- 天童郷土研究会
- 「史跡めぐり・出羽三山を巡る」10/7
- 日本将棋連盟天童支部
- 「第18回大山康晴十五世名人杯争奪将棋大会」
- 「第42回天童市民将棋大会」
- 10/20、10/21 福祉センター
- 天童広重研究会
- 講演 歌川広重と幕末の天童藩」10/21 広重美術館
- 天童郷土研究会
- 「第11回半日歴史散歩」11/4 乱川・道満探訪
- 「佛向寺踊躍念仏保存会
- 「佛向寺踊躍念仏公開」11/17 佛向寺

③
らぐがき会



「第33回奥の細道の足跡を訪ねる会」で平泉へ出発する前、天童ゆかりの念佛寺跡、翁塚で芭蕉の詠んだ句碑の説明を聞く参加者

はなかみ先生の遺徳を偲び偉人の功績を発掘、顕彰し、また埋もれた観光資源の調査研究運動を展開して“街を明るく奉仕の心を忘れず”を姿勢に、市民の立場になって活動して行くことを趣旨に、昭和37年11月3日に創設の準備、翌年2月24日に「らぐがき会」が誕生。

今迄の成果として昭和39年6月28日結成された文化団体協議会の旗揚げ。天童地域に於ける芭蕉の足跡を調査、天童奥の細道観光研究会の名称で昭和51年3月3日に教育委員会へ提出、昭和54年7月12日に山寺への道として足跡を訪ねる会を公募により市民と共に開催、白河の関から念珠ヶ関まで順次訪ね34回目になります。また、句碑の建立運動を展開。はなかみ先生顕彰碑(S49.5.5)、翁塚碑(S53.7.16)、まゆはきの句碑(S56.7.11)、古池やの句碑(S56.7.11)、行く末はの句碑(S61.7.13)、加藤楸邨先生の夫婦句碑(H9.7.13)、高浜虚子の句碑の移設(H15.7.9) 7基になります。

④
天童短歌会



会員34名、年4回の短歌会(市民短歌会も含む)、自筆の秋の色紙展、市報に新春詠の掲載発表、『天童・ひろば』へ年3回の出詠をしている。『年刊歌集』の発行は本年で第50集となり、市文化団体協議会の歴史と奇しくも同じとなる。

半世紀にわたり、初代会長原正邦氏、二代目那須藤治氏、三代目現高橋宗伸氏がリーダーとしてまとめて下さったことに改めて感謝したい。会員はいろんな結社に所属しながらも、当会員としての作歌力向上はもとより、短歌を通じた共通の土俵にすることに誇りを感じている。

また、山形新聞の「地域の文芸欄」にも寄稿し、多くの方からご指導を得ている。齊藤茂吉の足跡を訪ねたり、昨年は姉妹都市多賀城市内の会と交流会をしながら、被災地巡礼の吟行会を行った。

⑦
ビッグ・スウィング・フェイス



バンドリーダー 阿部豊明

音楽の力でまちを元気にと、'72年に結成し40年。夢は実現すること、そしてこれまでの豊かな人間邂逅に感謝している。

その象徴は、国民文化祭「ジャズフェスティバル」、日本ジャズ界の重鎮、高橋達也氏を敬愛するミュージシャンが大集合、白熱した7時間の演奏に我がBSFは、ジャズ組曲「王将太鼓」を創作初演し「将棋のまち天童」をアピールしたことが昨日のことのようだ。

'99年にジャズの故郷、米ニューオリンズを訪れた。街角や公園のいたるところでジャズを演奏していた姿が印象的。国境も人種も越え、自由で元気の出る音楽“ジャズ”を共々に楽しみ、本当に豊かな文化生活をおくるための一助となりたい。

⑧
天童市書道連盟



H24.11.14 多賀城碑の前で(多賀城市書道会との交流)

当書道連盟は、天童市内の11団体の書道会が、書道文化の推進、書芸術と向上・相互交流など、共通する目的のため結成された会で、会員数は現在百十数名で、会長は鈴木千岳先生です。主な事業は年1回の会員展と、併設している教育書道の展示と表彰です。

会員展は、昭和63年の第一回展から、年2回開催でありましたが、平成14年からは年1回に改め、出品数を拡大し、今に至っております。昨年は第60回展となりました。これを記念して、多賀城市と松島方面へ親睦小旅行を実施し、16名が参加し、本市と文化相互交流都市の多賀城市の「宮城野書会」と交流会を持ち、第60回会員展に賛助展示をしていただきました。当会の課題は、会員の高齢化があり、若い人が書道を習おうとする意欲的な方が少なく、書道人口の減少が懸念されていることです。

最後に、本年も11月下旬に市民プラザで会員展を行いますので、どうぞ足をお運びください。

各団体の活動紹介

① 村山美術



昭和21年、「天童美術」として設立。同年、第1回天童美術総合展を旧東村山郡役所2階で開催した。22年には、小中学校の作品も募集し、第2回天童美術総合展を旧東村山郡役所の公会堂で開催した。24年に「村山美術」と改称、その後、村山美術総合展として毎年開催している。最終日には優秀な作品に対し、各団体の協力を得て表彰を行っている。37年からは幼児美術振興として、幼稚園、保育園、児童館の作品も展示している。39年には天童市文化団体協議会が設立され、秋には市民芸術祭が開かれ宝樹社と共に市民美術展を開催している。平成に入り9年には50回、18年には60回と10年毎の記念画集を発刊している。また、年数回の研修会を行っているが、近年は3年毎に遠出のスケッチ旅行も実施し尾瀬や小樽、今年は奈良に出かけ研修を行っている。

② 宝樹社 ほうじゅしゃ



「宝樹社」は、市内の愛好者を中心として活動する日本画団体である。来年で80回を迎える歴史ある団体で、発足は1933(昭和8) 市内にある宝樹山仏向寺の書院で展覧会を開いたことからその名がついた。

毎年4月の桜祭りの時に展覧会を開催し、同時に色紙頒布会も行い、売り上げを天童市芸術文化振興基金に納めている。また、12月には市役所のロビーにて色紙頒布会を行い、福祉施設に寄付し、今年も、県知事賞を頂いた。

この写真は、5月に写生旅行に出かけた時のもので、まだ田畑に雪が残る大井沢の山野や、川柳の草緑の美しさに筆を走らせてきた

これからも、皆さんに感動を与えられるように真摯に描いていきたい。5月18日の宝樹社80周年祝賀会に、是非おいで下さい。

⑤ 天童市合唱団体 連絡協議会



加盟団体は現在8団体。総勢約120名。毎年市芸術祭の中で、各合唱団の発表会として天童コーラスフェスティバルを開催しています。昨年は、新しい試みとして他市の合唱団もお招きし、大合唱祭を開催しました。

また、市の大きなイベントにも積極的に参加しており、昨年はオペラ・ガラ・コンサートにも出演しました。

各合唱団とも歌好きな老若男女の集まりです。練習曜日&時間は違いますが、県内を代表する良き指導者のもと楽しく歌っています。

～加盟団体～

- ・天童混声合唱団
- ・天童コールアカシア
- ・オアシスコーラス
- ・まいづるコーラス
- ・山口マンデーコーラス
- ・合唱団 Pianeta
- ・アンサンブルセレーナ
- ・天童少年少女合唱団

⑥ 若葉の音楽会



昭和47年、フォークソング・ロック・フュージョン等のバンドが集まって、若葉の音楽会を結成。

音楽を通して、若者の育成と地域文化の発展を目標に活動してまいりました。その間、福祉施設への慰問、各種イベントへの参加、出会いと感動の連続でした。

現在、数団体で活動していますが、みんな楽しく活動しています。

新たに西沼田遺跡のバンドが加盟。平均年齢が若くなりました。西沼田遺跡においてコンサート等を行い、そこから全国へ発信していけたらと思っています。今後とも、チャレンジ精神で前向きに活動していきたいと思っています。

※次号は天童市文化団体協議会加盟団体 No.9～16を紹介致します。

告知

天童市民芸術祭第50回記念事業

「てんどうアートフェスティバル」



（天童市民芸術祭の第50回を記念して、
楽しいイベントを予定しています。
みなさんどうぞお出てください。）

平成25年**9月28日(土)~29日(日)**

※「第50回市民芸術祭」平成25年9月28日~12月31日

- 会場：天童市市民文化会館・市美術館・市民プラザなど
- 主な催物：28日(土)
 - ・記念公演：林家正蔵・柳家喜多八 二人会
 - ・市民作品展(~29日)
 - ・こども将棋大会
- 29日(日)
 - ・ステージ発表：文化団体協議会加盟団体による発表
 - ・こどもらくがき大会

*その他、お茶席、各種体験コーナー、飲食コーナー など

天童の文化探訪 I

●若松寺観音堂
じやくしょうじかんのんどう

●板絵着色神馬図
いたえちやくしよくじんめず

●金銅聖観音像懸仏
こんどうしょうかんのんそうかけほとけ



若松寺観音堂



金銅聖観音像懸仏



板絵着色神馬図

若松寺は寺伝によれば行基の開基後、慈覚大師によって山頂から現在地に移されたという。様式から見て室町時代末に建立されたと考えられている。後、慶長年間には山形城主最上義光の庇護を受け、大改修が行われている。

また、横板5枚をはぎ合わせ奉納額に仕立てた郷目右京進貞繁が描いた神馬図や、弘長三癸亥(1263)5月8日成生荘の大壇那藤原真綱ほか血縁寄進した人々の名が刻まれている懸仏が堂内に安置されている。

【編集後記】



編集委員会風景

天童市文化団体協議会広報誌の創刊号ができました。冊子の名前は「きらめき」です。天童市民の芸術文化活動が益々輝きを増すことを願って命名しました。この度は第50回記念事業のプレでもあり、天童市文化団体の活動を皆様に知って頂きたく、16名の編集委員が知恵を絞って作成しました。見やすくすっきりと纏めてみました。50団体の豊かな文化活動を是非ご覧ください。

皆様の感想・ご意見等もお待ちしています。

松村

きらめき

題字
鈴木千岳

◆編集委員…編集委員長：松村昌子 伊藤有光、森 睦、松田壽美恵、大江義晴、西尾秀男、高梨 富、川崎慎之介、吉見勝義、森川慶子、山口清志、松若寿恵玲、佐野つる子、石井源左衛門、伊藤寛二、水戸昭吾